

2. 探究的な学習の充実のために

総合的な学習(探究)の時間から見直してみませんか？

年間指導計画

行事に置き換えられている
進路指導になっている
前年度のままになっている



カリキュラム・マネジメントを軸として！

児童生徒の学習経験に配慮する

- ・ 児童生徒のこれまでの経験や成果を生かす
- ・ 経験が不足している場合には、それに応じた活動となるようにする

適切な活動時期に実施する

- ・ 1年間の季節や行事の流れを生かす
- ・ 時期と内容の両面から検討する

各教科等との関連を明らかにする

- ・ 各教科等で身に付けた資質・能力を把握し、総合的な学習(探究)の時間で活用させる
- ・ 総合的な学習(探究)の時間での活動が各教科等における学習の素材となることも考えられる

外部・異校種連携を意識する

- ・ 支援してくれる団体や個人に、連携・協力を求められる関係づくりをしておく
- ・ 異校種連携では児童生徒が必要感を持ち、互恵的な関係になるようにする

単元計画

教師主導の場面が多い
計画をこなすだけになっている
学習に深まりが見られない



より探究的に！

児童生徒の関心や疑問を生かす

- ・ 児童生徒の関心や疑問を見取り、把握する
- ・ 教師の働き掛けなどにより芽生えた新たな関心や疑問をよりどころにすることも考えられる

意図した学習を効果的に生み出す

- ・ 活動の向かう方向を予測し、教師はどのような働き掛けをするのか検討する
- ・ 幅広く、拡散的に思考を巡らせながら、教材研究を行う

学習過程を探究的にする

他者と協働して主体的に取り組ませる

1, 2ページをご覧ください

※単元が年間を通して1つの場合は、年間指導計画と単元計画が1つにまとまる場合もあります。

総合的な学習(探究)の時間の見直しをきっかけとして、
他教科等でも探究的な学習に取り組んでいきたいね！

